



表紙のことば

豊沢地内の河川敷に約30匹のこいのぼりが泳いでいるという情報を聞き、早速取材へ。現地には、茶畑、桜、こいのぼりと色彩豊かな風景が広がっていました。偶然にも、こいのぼりを見に来ていた方を発見。次の日に幼稚園への入園式を迎えるお孫さんと一緒に、こいのぼりを見に来たとのこと。3人で仲良く自転車に乗ったところをパチリ!! 空高く泳ぐこいのぼりのように、元気で楽しい幼稚園生活を過ごせるといいね!

市民の動き

人口 / 85,169人 (前月比+38人)

(外国人登録者3,751人含む)

男性 / 43,003人 (前月比+35人)

女性 / 42,166人 (前月比+3人)

世帯数 / 29,466世帯(前月比+97世帯)

平成19年4月1日現在

広報

ふくろい



袋井市の市章

2007年(平成19年)5月1日発行 第51号

編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係 千437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1 TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

【Eメール】

hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

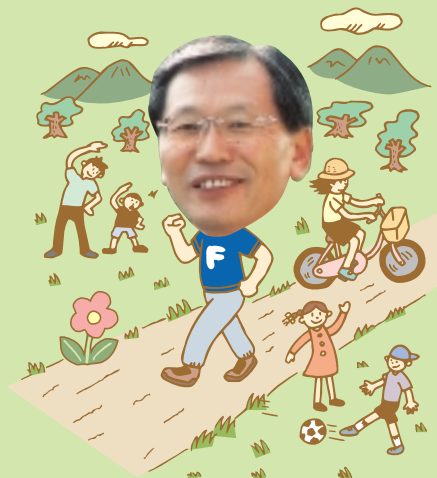


古紙配合率100%再生紙を使用しています

原田市長の

さんぽみち

散歩道



NHK総合テレビに「ご近所の底力」という番組がある。先日、ごみの不法投棄に困っていた地域の人たちが、一致団結・協力して、ごみが捨てられない方法を考え出し、見事にこの問題を解決した例を放送していた。「ご近所の底力」ということでは、袋井にもその力は十分ある。一つの例が国体の時の民泊で、全国から来る2,000人の陸上選手を泊めるホテルが足りないという課題を1,000軒の民泊で解決し、自治会ごとに歓迎会を行った。その結果、選手は喜び、エコパは応援する人たちにぎわい、民泊家庭と選手との交流も生まれた。これは、おもてなしの心と自治会

「ご近所の底力」

のまとまりとが合わさった「自治会の底力」であると思う。4月から、結婚のお祝いにお茶と急須を、子どもの誕生祝いにメロンを袋井茶振興協議会とクラウンメロン支所の協力で贈呈している。これに法多山名物だんご企業

わると思う。これは、市内の様々な産業が連携することにより、「底力」が発揮される例といえる。これからは、住みよいまちとなるためには、地域の人的・物的資源を組み合わせたリ、連携したりして、「地域の底力」を発揮することが必要だと思う。幸い袋井には、今までに蓄積されたおもてなしの心や自治会、連合会ことのもとま

りがある。さらに、メロンやお茶などの特産品、最近は「たまごふわふわ」などの名物、遠州三山に代表される名所や旧跡、多種類の企業もある。こうしたすばらしい資源をうまく組み合わせ連携して「袋井の底力」を大いに発揮

していきたいと思っている。